

## 年頭のごあいさつ

代表 坂場光雄

2019年、新年のごあいさつを申し上げます。

昨年の日本は猛暑に加え、台風、地震の被害が相次ぎました。自然災害に加え、人間の判断、システムにも不都合があり、大きな影響が出ました。お見舞いを申し上げますとともに、速やかな復興を祈念いたします。

防災、減災は、マニュアルにあるように行動するのが大切で、実施体験訓練は欠かせません。それに加えて、日頃からの地域理解が重要です。東京に住んで40年以上になりますが、歩いている場所のごくわずかでした。人間が歩くことを基本とすると、東京は広大です。電車や自動車の移動は点を移動するようなものです。情報は部分的断片的で、わかったつもりでいることも多いです。最近はその噂もニュースも飛び交っているようです。現地に足を運んで、自分で確認したいものです。

サヘルの定例活動で、都内を中心に歩き回って10年余。1年に10か所で、100か所を越えました。大きな公園など緑の拠点を結んで歩いています。以前に訪ねたからわかるだろうと思っていたら、変わっているところもたくさんあります。都内では大きなビル群も増えています。地域にある郷土資料館や博物館は地域情報の塊で、楽しみながら学べます。

人間の身体は使わないでいると筋力が低下、劣化します。五感を働かせながら、地域理解を進め、マリの活動につなげたいと思います。

マリの現場ではこれまで実施してきた里山再生実践者研修により27名が接木や育苗などの技術を学びました。今年はこの研修生達が自分たちの暮らす地域で核となり活動できるようにサポートしていく予定です。木を育て、人を育て、私たちも一緒に学び成長していきます。

本年もご支援のほど、よろしくお願いいたします。



ファラダン小学校 学校林



コジャニ村のマダム